

恩を知り恩に報いる

今年の夏も、お天気に恵まれ、夏らしい日々が続きました。棚経（たなぎょう）仏壇前でのお参り（最終日には、ゲリラ豪雨に見舞われ、思わぬ洗礼も受けました）。

「お盆」と言えば、帰省されたり、行楽地に出掛けられる方も多いと思いますが、お寺側の視点で見ると、ほとんどのお寺は殺人的スケジュールで回っていることが多いものです。

《真成寺の場合…》

・早朝4時半に開門。本堂にて5時励行に朝のお勤め。身支度を整え1軒目のご訪問が6時頃。そこから朝飯も昼飯も知ったこっちゃねえ状態で、夕方5時半頃まで約三十軒のご訪問。夕方6時励行に真成寺本堂でのお勤め。6時半頃から、お墓でのお参りが開始され…閉門が二十二時頃。閉門後約1時間をかけて、本堂の掃除や、仏飯を下げたり、翌日の準備に取り掛かります。そんなわけで、1日の達成感充実感は格別なものがあります。

真成寺では、7月にお盆を終えた金沢や福井から駆け付けて下さった僧侶と共に、家族一丸となって、関わらせて頂く檀家・信徒の皆さんが、気持ち良くお参りできるように心がけています。

お盆での楽しみの1つは、終日お

檀家さんと触れ合い続けられることです。悲喜こもごも、色んな会話を通

して、お互いがお互いの関係を深められることです。温かい労いと感謝のお言葉をかけて頂いたり、昼食時には食べきれないくらいのご馳走を用意して下さっていたり、お参り後の飲み物は、コーヒーにお茶に栄養ドリンクなど、全種類ご用意の上、「好きな物を召し上がって下さい」と。あるいは、「他でも頂いているでしょうから、ペットボトルですが、そのまま持ち下さい。お暑いので水分補給をして、熱中症に気をつけて下さい」など…。それぞれ各お檀家さんの温かいお気持ちに心身に染みわたります。時には温かすぎて涙を流すこともあります。ホント有り難い！これも、親先祖へ向けての恩返しの一つだと捉えておられるものと思います。そして、寺院や私達僧侶への期待感をヒシヒシと感じます。僧侶の役割はお経を唱え、仏様と檀信徒の皆様方との橋渡しです。

雨上がりの青空の下、青々と揺らぐ稲穂に自分を投影しました。実り多く頭を垂れる稲穂のように、シッカリ精進していきたいと思いを新たにしました。

●【富山県は住み良い土地柄】

去る6月21日、北日本新聞に掲載された「住みよきランキング」と銘打たれた記事が目にとまりました。そこでは、全国813都市（790市と東京23区）を対象にした、東洋経済新報

社（東京）の「住みよきランキング2016」の結果が発表されていたのです。皆様ご存じだったでしょうか？砺波市が全国3位に入り、次ぐ魚津市が13位、滑川市が14位と続き、南砺市を除いた県内9市が上位50位に入っていたのです。逆に、なぜか南砺市だけが234位と、そこそこの順位なのが気になるのですが…。

いずれにしても、富山県は広大な大自然の恵みに育まれた土地柄であり、そこで生活する県民は、大らかで温かいという事が証明されているのではないかと嬉しく思います。ランキング（順位）は「安心度・利便度・快適度・富裕度・住居水準充実度」の5項目を数値化し、総合評価した結果だそうです。私達人間には智慧があります。そしてその智慧から、人間は道具を生みだし、使う事のできる生き物です。道具は私達の生活を便利にしてくれました。しかし道具は便利ではあっても、便利は幸せかどうか!?ですね。人と人が顔を見ず、言葉も交わさず、スマホに熱中する姿に、道具に使われた人間不在の社会を感じる日本の大都市。今は地方都市までも当たり前の景色になつてきたのが残念なところですが…。

若い人など、自動車も見えない、新聞も読まない、テレビも見えない、高価なブランドにも関心はない、ただただスマホがあれば足りる、という時代になつてしまいました。鋭利な刃物も使い方一つで、ドスにもメスにもなる様に、スマホは便利だけに、使い方一つで、

人や社会を不幸にすることもあります。

スマホを使ったイジメが陰湿化していると聞きます。学校によつては、「家庭でもスマホを買い与えないで下さい」と校則で定められているところもあるくらいです。便利になればなるほど、道具を使う人間の智慧が重要になってきます。私達も自然の一部です。一部に過ぎない人間が、大自然を支配しようなどという傲慢な心が、住みにくい都市を造つてしまふのではないかと思つてしまいます。逆に、山や海などの自然と調和して生きるところに、はじめて先の5項目（安心度・利便度・快適度・富裕度・住居水準充実度）が反映されていくのではないのでしょうか。大自然に囲まれた富山県を、更に住み良いまちにするのは、県民の私達一人一人の智慧の発露にかかっていると言えましょう。

●【大人の背中】

私達の一生は、日々の生活の一コマ一コマが選択の連続で成り立っています。例えば、出掛ける時傘を持つていくかどうか、レストラン食堂のメニューから何を選ぶのか、夏休みの家族旅行はどこへ出掛けるのか、はたまた出掛けないのか。どの学校に進むのか、どこに就職するのか等…。例を挙げれば切りがありません。受験の時に悩んだはずです。学校のイメージ、自分の学力とのバランス、

●【国歌制定の日「君が代」】

リオオリンピックでメダルラッシュに沸いた日本列島。表彰台の上で流れる国歌を口ずさみながら感涙した方も多かったのではないのでしょうか？ところで、突然ですが国歌「君が代」を書けますか？「君が代」は古歌から採った32文字程度の短い文です。日本国民なら、これくらい書けなくてははいけません。そしてその意味するところも知らなければ日本人とは言えないのは・・・と思います。

「君が代」の元歌は古今和歌集に出ています。明治26（1893）年の8月14日に国歌として定められました。ただし、日教組の国旗掲揚・国歌斉唱反対運動が起こり、平成11（1999）年に正式に「国旗国歌法」として定められています。

♪君が代は千代に八千代にさざれ石の巖となりて苔のむすまで♪

歌詞は9世紀に遡ります。元歌は、平安時代の800年ごろ、ある女性が男性のために詠んだ恋の歌です。つまり《私の愛する男性の命がどうかどうか長く続きますように。たとえ小さな小石が寄り集まって、ぎっしり固まって大きな岩となり、それにコケが生えるまで、どうかお健やかに生きていて下さいませ》となります。日本の国歌は愛の歌です。愛する人が元気で長生きしますように・・・という祈りの歌だったのです。ちなみに「君が代」はギ

通学のしやすさなど色々考え、選んだ結果の先にあるのが「いま」という事になります。もう一歩踏み込んで宗教的に言えば、両親や家族構成、人生の母体となるテーマなども既に決めて生まれ落ちるという考え方をしますが、だとすれば霊的な世界でも選択をしてきたことになります。東京都知事選や参院選が行われましたが、誰に投票するのか？選択肢はいくつもあります。まず投票に行くのかどうか？行くのなら選挙区と比例代表で、どの候補、政党に投票するのか？一人一人の選択はちっぽけに思えるかもしれませんが、それがまとまって、この国の進む方向を指示していきます。政治に期待が持てない、という声を耳にするので、投票しないと決めた人もいるかもしれませんが、自分が全く関係ない」とうそぶくことなどできないはず。問いて直してみて頂きたいと思えます。本来にその選択が最善なのか、と。何しろ近い将来、この国を背負って立つ子供達が、私達大人の背中をジッと見ているのですから・・・。

お盆に引き続き今月はお彼岸の月です。親先祖に合掌する姿を、そして命に合掌する姿を子孫に見せつけて頂きたいと思えます。合掌をして頭を垂れる姿勢は、感謝をして、報恩に生きる生き方に繋がるからです。

ネスブックに登録され、世界最古の国歌として世界から認定されています。ついでに他国の国歌はどうかというと、◎攻めてくる敵を打ち破れ（旧ソ連）◎心あわせて敵に当らん（中国）◎進め、仇なす敵を葬れ（フランス）◎敵を蹴散らし降伏させたまえ（イギリス）というフレーズが含まれていて、革命やら、内戦やらの勝利の歌がそのまま国家になっているに過ぎない歌詞なのです。国歌にも国民性が出るというものです。私達日本国民は、もっと誇り持ち、他人の幸せを祈れる私達でありたいですね。何しろ近い将来、この国を背負って立つ子供達が、私達大人の背中をジッと見ているのですから・・・。

合掌 副住職 谷川寛敬



秋の旅行ご案内

とき…10月12日（水）・13日（木）・14日（金）二泊三日

ところ…東京（池上本門寺 お会式万灯行列参拝）

身延山・七面山 その他霊跡参拝（詳細はお寺まで）

※ 久しぶりの七面山登詣です。多くの方のご参加をお待ち申し上げます。